

令和４年度の地域密着型金融の取組み状況

１ 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

項 目	具体的取組策	概要および令和４年度における主な取組実績
創業・新規事業開拓への支援強化	○創業・新事業支援融資の取組みによる支援	・創業・新事業支援融資の取組実績 213 件 1, 845 百万円となりました。
成長分野に対する積極的な支援	○先端設備等導入計画に関する確認支援	・先端設備等導入計画に関する確認支援を２件行いました。
	○「いちいWe b マルシェ」の開設	・当金庫の持つ「つなぐ力」を発揮し、地域の事業者様の商品、サービスおよび技術などをWe b サイトで広く一般に情報提供することを目的とした、独自のビジネスマッチングサイト「いちいWe b マルシェ」を開設いたしました。また、2023 年 1 月 23 日、「いちいWe b マルシェ」と青梅信用金庫「あおしんビジネスマッチング応援サイト」の相互リンクを開始しました。さらに、2023 年 3 月、登録済の事業者様が、他の登録事業者様との個別商談を「We b 申込みによる方法等」で申込みできるようにいたしました。（5 年 3 月末現在、掲載件数 1, 004 件）
	○ビジネスマッチングによる新たな販路獲得等の支援	・「しんきんビジネスマッチング・ビジネスフェア」に当金庫取引先 26 社が出展しました。（商談数 73 件、成約数 7 件） ・「お菓子フェア 2022」を開催いたしました。「いちいお菓子フェア」の小冊子（割引クーポン付）を作成し、出展業者様 60 社を紹介しました。また、当金庫のホームページに「いちい信用金庫お菓子フェアWE B 版」を開設し、出展業者様の店舗情報等を掲載してインターネット上で紹介しました。（クーポン券利用数 3, 624 枚 売上金額 4, 806, 285 円）
	○個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組みによる支援	・流動資産活用ローンや、創業支援ローンなどお客様の事情・要望に応じた商品を開発し、積極的に取組みました。（5 年 3 月末現在、融資残高 35 件 52 百万円） ・企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価して行う「事業性評価に基づく融資」を積極的に取組みました。（5 年 3 月末現在、融資残高 1, 429 件 85, 845 百万円）
経営改善・事業再生・業種転換等の支援強化	○事業再構築補助金の申請支援	・2020 年度第三次補正・2021 年度補正・2022 年度予備費事業再構築補助金（第 6 回～第 9 回）の申請支援を 32 件行いました。なお、当金庫の採択率は 50. 0%であり、全国の採択率 49. 8%と同程度でした。
	○再生計画作成による経営支援	・23 先の支援に重点的に取組みました。（再生計画の策定 23 先のうち、債務者区分のランクアップ 1 先）
	○「新型コロナウイルスに関連した融資相談窓口」の設置による支援	・新型コロナウイルスに関連した融資の取組実績 27 件 427 百万円となりました。
M & A を含めた事業承継相談の取組み	○信金キャピタル株式会社や愛知県事業承継・引継ぎ支援センターの「M & A」案件情報の活用による支援	・中小企業に対する M & A マッチング支援として、信用金庫のネットワークを活用したサポートを行っています。

２ 地域の面的再生への積極的な参画

項 目	具体的取組策	概要および令和４年度における主な取組実績
地方版総合戦略の策定・推進への積極的な協力	○自治体等との「地方版総合戦略」に関する連携事業の強化	・一宮市を始めとする、7 市、1 商工会議所、2 商工会と地方創生に係る連携協定を締結しています。
新規創業の促進を図るための地域との連携協力	○創業支援事業に関する支援策の連携	・一宮市を始めとする、4 市、3 町、1 商工会議所、6 商工会と創業支援にかかる包括連携協定に関する協定を締結しています。 ・一宮市、津島市、江南市、岩倉市、あま市、大口町、扶桑町の産業競争力強化法に基づく特定創業支援事業として「西尾張創業塾」を開催しています。令和４年度は、「第 9 回西尾張創業塾」を開催し、7 名が全過程を修了し、5 名が開業しました。
S D G s 達成に向けた連携の取組み	○一宮市 S D G s パートナー制度の取組みによる支援	・一宮市と「一宮市 S D G s パートナー制度にかかる覚書」を締結し、「サポーター」に就任しました。 当金庫は、「サポーター」として、経営支援等を通じ、一宮市内で S D G s に関する活動をしている、または関心を持っている企業・教育機関・団体等の「パートナー」が抱える課題の解決に向けた相談や助言等を行い、まちの活性化に努めています。
ウィズ・ポストコロナにおける地域の事業者への支援に向けた連携・協働の取組み	○各関係団体と連携・協働した地域の事業者への支援	・ウィズ・ポストコロナにおける地域の事業者への連携支援として、一宮中小企業サポート会議に参加しています。 この会議は、コロナ後を見据えた事業者への支援を地域で連携・協働して展開していくことを目的としています。各機関それぞれが実施している支援策等を発表し、相互理解・関係性の向上に努めております。 〈参加機関〉愛知県信用保証協会（事務局）、当金庫、一宮市、一宮商工会議所、尾西商工会、木曽川商工会、日本政策金融公庫一宮支店、尾西信用金庫

３ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

項 目	具体的取組策	概要および令和４年度における主な取組実績
地域密着型金融の取組みに関する積極的な情報発信	○ホームページ、ディスクロージャー誌等の活用	・地域密着型金融の取組状況や、各種取組に関するニュースリリース等をホームページ上で公表しています。
地域経済や経営に役立つ多様な情報提供	○お客様、地域経済、経営に役立つ多様な情報提供の実施	・景気動向調査を四半期ごとに実施し、「景況レポート」を発刊しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に係る国、県、市等の支援策（雇用調整助成金、補助金、事業復活支援金、固定資産税等の特例措置など）を積極的に情報提供しました。